



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 株式会社中央倉庫 上場取引所 東
コード番号 9319 URL <https://www.chuosoko.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 谷奥 秀実
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 山口 治彦 TEL 075-313-6151
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,938	2.1	658	7.8	770	△1.9	508	△3.6
2024年3月期第1四半期	6,794	7.0	611	△0.7	785	△3.7	527	△3.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,076百万円 (44.5%) 2024年3月期第1四半期 745百万円 (69.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	26.75	—
2024年3月期第1四半期	27.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	58,688	46,354	78.5
2024年3月期	58,016	45,601	78.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 46,076百万円 2024年3月期 45,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	15.00	—	21.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	13,700	1.9	1,020	1.7	1,200	0.2	800	△1.7	42.12
通期	27,500	3.7	2,050	6.0	2,350	5.4	1,700	0.1	89.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	19,064,897株	2024年3月期	19,064,897株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	73,116株	2024年3月期	73,116株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	18,991,781株	2024年3月期1Q	18,983,367株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な設備投資や雇用・所得環境の向上などにより回復傾向にあるものの、物価上昇による個人消費の下振れや為替の急激な変動に加え、海外における情勢不安の長期化や不安定な中国経済などの影響により、引き続き先行き不透明な状況で推移しております。

物流業界におきましても、このような経済情勢を受けて、貨物の荷動きは伸び悩み、人件費や燃料価格の高止まりなどによるコスト増加も続き、厳しい経営環境で推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは第7次中期経営計画「Let's TRY! 2024」の最終年度として、自ら能動的に行動する「自身にTRY!」、挑戦する風土を創って、分かち合う「組織でTRY!」、社会に応える・つなげる「社会へTRY!」の3つのTRY!に取組み、施策展開を行っております。

具体的には、愛知県あま市において新拠点建築用地の取得に向けた取組みを進めました。また、豊通ペトリサイクルシステムズ株式会社の物流取扱量や機工（輸送付随業務）取扱の拡大に加え、株式会社テスパックとのシナジー効果による梱包業のさらなる強化にも取り組んでおります。

併せて、現場作業のデジタル化、業務の効率化、業務品質の向上に継続して取り組み、また、環境に配慮したグリーン経営の推進やサステナビリティ基本方針に基づきサステナビリティ委員会及びサステナビリティ推進委員会の活動などを通じ、持続的な成長と企業価値向上を目指し、サステナビリティを巡る課題にも具体的に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は6,938百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は前年度に計上した滋賀支店天津営業所開設一時費用がなくなったことなどもあり658百万円（前年同期比7.8%増）となりました。また、経常利益は政策保有株式の縮減などにより受取配当金が減少したことなどから770百万円（前年同期比1.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は508百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（国内物流事業）

倉庫業におきましては、自社倉庫及び再寄託先も含めた貨物保管残高及び入庫高は前年同期に比し増加しましたが、出庫高は減少し、貨物回転率も減少しました。また、運送業につきましては、保管貨物の出庫高の減少を、豊通ペトリサイクルシステムズ株式会社や輸送付随業務などの保管外貨物輸送量が増加したことで補い、国内貨物輸送取扱量は前年同期に比し増加しました。

これらの結果、国内物流事業の営業収益は5,651百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は、適正料金收受の取組みによる効果や前年度計上した滋賀支店天津営業所開設一時費用がなくなったことなどから725百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

（国際貨物事業）

通関業におきましては、取扱数量は、輸入は前年同期に比し微増となったものの輸出は大きく減少しました。梱包業におきましても、輸出取扱量の減少を受けて取扱量は減少しました。

これらの結果、国際貨物事業の営業収益は、1,245百万円（前年同期比4.9%減）、セグメント利益は114百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

（不動産賃貸事業）

不動産賃貸事業につきましては、京都梅小路地区宿泊施設などの賃貸により、営業収益は89百万円（前年同期比増減なし）、セグメント利益は一部経費の割り振りを見直したことから、38百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

なお、物流用途不動産の賃貸につきましては、従来通り国内物流事業セグメントに区分しております。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ672百万円増の58,688百万円となりました。これは主に、流動資産の現金及び預金が333百万円減少しましたが、流動資産の前払費用が250百万円、固定資産の投資有価証券が評価益の増加などにより945百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ80百万円減の12,334百万円となりました。これは主に、固定負債の繰延税金負債が312百万円増加しましたが、流動負債の未払法人税等が215百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ752百万円増の46,354百万円となりました。これは主に、利益剰余金が185百万円、その他有価証券評価差額金が560百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.4ポイント増の78.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ333百万円（6.3%）減少し、当第1四半期連結会計期間末には4,918百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は610百万円の増加（前年同期は133百万円の減少）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益770百万円、減価償却費427百万円であります。また、主な減少要因は、前払費用等の増加によるその他の資産の増加280百万円、法人税等の支払361百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は419百万円の減少（前年同期は1,093百万円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出284百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は524百万円の減少（前年同期は317百万円の減少）となりました。主な要因は、配当金の支払323百万円、長期借入金の返済による支出180百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、2024年5月10日発表の業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,451,334	8,118,097
受取手形	314,200	314,677
営業未収入金	4,435,507	4,463,297
貯蔵品	30,914	33,218
その他	419,533	706,168
貸倒引当金	△835	△1,992
流動資産合計	13,650,653	13,633,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,639,446	17,437,798
機械装置及び運搬具（純額）	820,222	794,616
土地	12,463,472	12,463,472
リース資産（純額）	721,651	702,344
建設仮勘定	10,867	30,429
その他（純額）	134,948	129,858
有形固定資産合計	31,790,608	31,558,518
無形固定資産		
のれん	33,217	31,833
その他	87,900	81,785
無形固定資産合計	121,118	113,619
投資その他の資産		
投資有価証券	11,714,527	12,659,922
繰延税金資産	19,242	—
退職給付に係る資産	395,296	398,454
その他	326,239	326,275
貸倒引当金	△1,419	△1,419
投資その他の資産合計	12,453,887	13,383,233
固定資産合計	44,365,614	45,055,371
資産合計	58,016,268	58,688,839

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,663,506	1,657,093
短期借入金	2,970,000	2,970,000
1年内返済予定の長期借入金	689,438	589,440
リース債務	91,308	90,142
未払法人税等	347,252	131,988
賞与引当金	327,207	171,479
役員賞与引当金	37,200	11,000
その他	619,510	836,032
流動負債合計	6,745,423	6,457,175
固定負債		
長期借入金	2,178,738	2,098,434
社債	170,000	170,000
リース債務	744,686	722,878
繰延税金負債	1,900,462	2,212,553
退職給付に係る負債	167,576	168,324
その他	508,015	505,113
固定負債合計	5,669,479	5,877,304
負債合計	12,414,902	12,334,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	34,903,232	35,088,412
自己株式	△78,033	△78,033
株主資本合計	39,823,300	40,008,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,213,985	5,774,391
為替換算調整勘定	23,102	32,724
退職給付に係る調整累計額	270,365	261,339
その他の包括利益累計額合計	5,507,453	6,068,455
非支配株主持分	270,611	277,424
純資産合計	45,601,365	46,354,359
負債純資産合計	58,016,268	58,688,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業収益	6,794,905	6,938,790
営業原価	5,965,501	6,035,324
営業総利益	829,404	903,465
販売費及び一般管理費	218,378	244,559
営業利益	611,025	658,906
営業外収益		
受取利息	12	48
受取配当金	188,414	120,706
社宅使用料	3,924	3,790
持分法による投資利益	—	186
その他	6,347	11,292
営業外収益合計	198,698	136,024
営業外費用		
支払利息	21,549	20,292
持分法による投資損失	706	—
その他	1,761	4,150
営業外費用合計	24,016	24,442
経常利益	785,707	770,488
特別利益		
固定資産売却益	1,033	204
特別利益合計	1,033	204
特別損失		
固定資産売却損	932	—
固定資産除却損	562	417
特別損失合計	1,494	417
税金等調整前四半期純利益	785,246	770,275
法人税、住民税及び事業税	115,216	166,381
法人税等調整額	138,605	88,912
法人税等合計	253,821	255,293
四半期純利益	531,424	514,982
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,227	6,941
親会社株主に帰属する四半期純利益	527,197	508,040

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	531,424	514,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208,987	561,032
退職給付に係る調整額	△6,528	△9,026
持分法適用会社に対する持分相当額	11,417	9,622
その他の包括利益合計	213,876	561,628
四半期包括利益	745,301	1,076,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	743,307	1,069,041
非支配株主に係る四半期包括利益	1,993	7,568

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	785,246	770,275
減価償却費	409,214	427,043
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△196	1,156
賞与引当金の増減額（△は減少）	△187,823	△155,728
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△31,800	△26,200
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△7,188	△15,618
受取利息及び受取配当金	△188,426	△120,754
支払利息	21,549	20,292
持分法による投資損益（△は益）	706	△186
為替差損益（△は益）	△11	△110
固定資産除却損	562	417
固定資産売却損益（△は益）	△101	△204
営業債権の増減額（△は増加）	233,736	△28,267
棚卸資産の増減額（△は増加）	961	△2,303
その他の資産の増減額（△は増加）	△350,650	△280,796
営業債務の増減額（△は減少）	△185,576	△6,413
未払消費税等の増減額（△は減少）	△389,744	167,842
その他の負債の増減額（△は減少）	63,191	114,656
その他	1,749	1,399
小計	175,398	866,500
利息及び配当金の受取額	193,430	126,091
利息の支払額	△21,001	△20,500
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△481,001	△361,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	△133,173	610,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,650	—
定期預金の払戻による収入	2,400	—
有形固定資産の取得による支出	△1,023,510	△284,198
有形固定資産の売却による収入	3,930	2,392
有形固定資産の除却による支出	△69,500	—
投資有価証券の取得による支出	—	△137,997
その他	△2,815	647
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,093,145	△419,155
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	180,000	—
長期借入金の返済による支出	△175,124	△180,302
リース債務の返済による支出	△16,875	△20,282
配当金の支払額	△304,041	△323,125
非支配株主への配当金の支払額	△1,260	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△317,300	△524,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	110
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,543,608	△333,236
現金及び現金同等物の期首残高	4,922,940	5,251,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,379,332	4,918,097

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際貨物事業	不動産賃貸事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	5,306,059	1,310,636	—	6,616,695	—	6,616,695
その他の収益	88,869	—	89,340	178,210	—	178,210
外部顧客への営業収益	5,394,928	1,310,636	89,340	6,794,905	—	6,794,905
セグメント間の内部営業収益又は振替高	47,751	—	—	47,751	△47,751	—
計	5,442,680	1,310,636	89,340	6,842,657	△47,751	6,794,905
セグメント利益	628,077	138,623	38,458	805,158	△194,133	611,025

(注) 1. セグメント利益の調整額△194,133千円には、セグメント間取引消去△27千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△194,106千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際貨物事業	不動産賃貸事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	5,509,479	1,245,858	—	6,755,337	—	6,755,337
その他の収益	94,112	—	89,340	183,453	—	183,453
外部顧客への営業収益	5,603,591	1,245,858	89,340	6,938,790	—	6,938,790
セグメント間の内部営業収益又は振替高	48,276	—	—	48,276	△48,276	—
計	5,651,868	1,245,858	89,340	6,987,067	△48,276	6,938,790
セグメント利益	725,139	114,195	38,654	877,988	△219,082	658,906

(注) 1. セグメント利益の調整額△219,082千円には、セグメント間取引消去△8千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△219,074千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。